

長門医療圏地域医療構想調整会議（平成30年度）議事概要

【日時】平成31年3月7日（木）18:00～19:40

【場所】長門市地域医療連携支援センター 2階会議室

【出席者】出席者名簿のとおり

- 病床機能等医療のあり方検討部会の概要を報告した。
- 調整会議の取組促進に係る対応や病床機能報告の取扱等について説明した。
- 公的医療機関以外の病院について、地域医療構想の達成に向けた対応方針を協議し、合意した。
- 医療機能分化連携推進事業に係る急性期施設・設備整備の実施希望について協議し、合意した。

【議事内容】

1 調整会議の取組促進に係る対応について

県医療政策課から、国通知を踏まえた、個別医療機関ごとの具体的対応方針の決定及び地域医療構想アドバイザーの設置に係る対応等について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

2 平成29年度病床機能報告について

県医療政策課から、平成29年度病床機能報告の結果等について説明を行うとともに、平成30年度からの病床機能報告において、保険点数による医療機能分類を参考に医療機能を選択する取扱いが示された。

（主な意見・質問等）

- 齋木病院が機能回復訓練室の整備に伴い急性期病床を削減したことから、圏域の急性期病床数が8床減少している。

3 医療機関2025プランについて

県医療政策課から、公立病院等の具体的対応方針の協議方法について説明を行った後、その他の病院（齋木病院、岡田病院、俵山病院）から、「医療機関2025プラン」に基づき、今後の方針及び具体的な計画について、現在の状況も踏まえた説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 地域の二次救急医療を維持するため、人材確保が厳しい地域性も踏まえ、医師及び医療スタッフの補充について、県の協力が必要。
- 俵山病院の介護医療院転換については、交通の便が悪く、高齢者の一人暮らしが多い俵山地区から病院がなくなることにより地域住民の不安があることも踏まえ、1階を外来の無床診療所として存続することを検討している。
- 介護医療院への転換について、介護保険料に影響を及ぼす恐れもあるため、市への早めの情報提供をお願いする。
- 各病院の方針等について、調整会議として承認した。

4 医療機能分化連携推進事業（長門総合病院の建替工事）について

医療機能分化連携推進事業の実施を希望する長門総合病院から、急性期施設・設備整備事業として、圏域の課題に対応する救急の強化や周産期・小児医療の確保等、急性期機能の集約・強化に係る整備内容の説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 圏域の課題である救急対応のためのドクターヘリの活用については、発着場の整備ではなく、地域医療福祉連携室の充実等、地域連携の充実に向けた体制整備により対応していく。
- 圏域の課題解決に資する急性期機能の集約・強化を図る方向性と整合していることから、調整会議として承認した。

5 検討部会の開催状況について

事務局から、第1回及び第2回の検討部会の議事概要の報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

6 その他

県医療政策課から、介護医療院への転換に係る支援や在宅医療提供体制充実支援事業の取組状況について情報提供を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし